

賛成

本市は、子育て世代の転入による人口増加や、物流倉庫の建設などにより、市税において個人市民税や固定資産税が堅調であることや、令和5年度から着手されるごみ焼却施設の大規模改修、小中学校の新設や移転にかかる建築費や改修費などに充てるため、国庫補助金を活用すること、さらに、大規模予算を要する事業に備え積み増してきた基金を導入するなど、計画的かつ堅実な歳入確保に取り組んでいます。

課題としては、高齢化が進む中で、介護保険特別会計と後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加傾向にある点と、市外へのふるさと納税による損失額が1億9千万円を超えている点があります。今後、課題解決に取り組まれることを要望します。

歳出では、子ども・子育て関連の予算が増加している中で、子ども医療費助成について、高校3年生までの拡充が盛り込まれたことを高く評価するとともに、高齢化が進む交通不便地域の課題解決に向けた具体的な取り組みの強化を強く要望し、賛成とします。

公明党

賛成

1点指摘して、賛成とします。

自由民主党

株式会社流山ツーリズムデザインに関する総括質疑において、本年2月に更新された「観光地域づくり法人形成・確立計画」の活動に関わる運営費の額および調達方法の見通しに記載されている流山市からの補助金と業務委託料の額が、予算説明書と一致しないことについて質問したところ、担当部長から、同計画の当該箇所は修正できない旨の答弁がありました。

経営に関わる重要な数字が修正できないことは、合理性に欠けるため、観光地域づくり法人支援室に問い合わせたところ、法人と行政の間で合意すれば随時更新して差し支えないとの回答があり、答弁が誤りであることが確認できました。また、過去に訂正済みであった箇所にも再度誤りがあるなど、さまざまな作業も見受けられます。

極めて重要な事柄に関する誤った答弁は、執行部と議会の信頼関係を危うくするものであり、執行部の猛省と再発防止を強く求めます。

会派に属さない議員
反対 大野 富生

会派に属さない議員
賛成 森田 洋一

会派に属さない議員
反対 阿部 治正

以下の問題点を指摘し、反対します。

広報ながれやまを含む広報紙の、折込業務委託に重大な疑義があります。

①受託者と取り交わす契約書（および仕様書）の内容が守られず、結果手数料を余分に支払っているのか。②受託者は、事前の承諾が必要となる再委託を、市の承諾がない状態で行っていたのか。

これらの問題を説明せず、再発防止策を講じずに引き続き同一事業者と契約することは、流山市政に対する、市民の信頼を失うこととなります。

財政面で人口増加により市税収入が増える一方、市債発行額が過去最大、財政調整積立基金の繰り入れが大きいです。要因は、新規学校建設、廃棄物処理施設延命化、中央消防署移転など大規模事業の財政負担です。人口が減らない街の実現には、物事の光と影や陰と陽の部分の踏まえ、あるがままの日常から魅力を発掘、他自治体の真似ではなく独自性を持つ、多様性を尊重し、住んでよし訪れてよしの街を作ることが重要です。そして、トップの本気度が問われます。

以下の課題への具体策の裏付けが不十分ないし欠落さえしていることから反対します。新型コロナウイルス感染症の再活性化への対策や次なる感染症の襲来への備え。物価高騰から市民の暮らしを守る市独自の施策。民間任せの開発主義がもたらした負の産物の是正策。急速に進む高齢化と増大する介護ニーズへの先取りの対応。交通移動手段が十分でない年齢層や地域への支援策。社会環境の変化に 대응することが困難となった学校システムの改革や柔軟な運用など。

～令和4年度政務活動費収支報告書などの公開についてのお知らせ～

流山市議会では、地方自治法第100条第16項に規定する「透明性の確保」のため、積極的に政務活動費収支報告書などを公開しています。令和4年度分のホームページおよび市役所情報公開コーナーなどでの公開については、6月上旬を予定しています。

また、8月15日発行の『流山市議会だより』第184号にも、令和4年度政務活動費収支報告などの詳細を掲載予定です。

政務活動費とは…

議員が行う調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するもので、本市では会派または会派に属さない議員に対して交付しています。



※過去の政務活動費収支報告書などは、市議会ホームページをご覧ください。

流山市議会 政務活動費 検索

こちらのQRコードからもご覧いただけます



市政に関する

一般質問

令和5年第1回定例会の一般質問には、21人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。



観光施策における情報発信について

森田 洋一

問 観光では、職員やスタッフによる情報発信も大切である。観光資源をPRするには、発信者その魅力を理解し、他人に勧めたいという気持ちが必要である。日頃からフリーで動いて、観光の研究が十分できる土壌形成が必須ではないか。

答 市長 流山本町・利根運河ツーリズム推進課は、大型事業である白みりんミュージアムの整備や赤城山公園の修景整備などのツーリズム環境整備事業を推進しています。情報発信では、令和4

年8月26日に同課の公式インスタグラム、流山ツーリズムを開設しました。同インスタグラムは職員が実際に体験し、感じたことを迅速に発信していきます。また、今後の政策を考える上で同地域の店舗を訪れ、来訪者の状況や地域活性化への思いを直接伺うことが重要であるため、職員は日頃からまちへ出ることを業務としています。今後も、職員自らが積極的にまちの情報を得る体制を継続していきます。



高齢者福祉を支える人材確保策について

流政会 青野 直

問 令和6年度から令和8年度までの、第9期流山市高齢者支援計画の中で、介護現場の人手不足の深刻さを位置づけることが重要だと考える。高齢者福祉を支える介護人材確保策について、どのように取り組もうとしているのか見解を求めます。

答 市長 第8期計画では、介護福祉士資格を取得し従事しようとする在学者に対し、無利子で修学資金を貸し付け、一定条件下で返済を免除する介護福祉士修学資金貸付事業を令和3年度から実

施し、令和4年度からは、市民などに向けた介護の仕事フェアを開催しているほか、一定要件を満たす介護職員などに対し、月額9千円の補助を行う市独自の「介護職員等処遇改善事業」を開始しました。介護人材の確保は重要だと認識しており、現事業の充実とともに、令和6年度に向け、ケアマネジャーも「介護職員等処遇改善事業」対象とすることを検討するなど、さらなる人材の獲得と定着に資する施策を、第9期計画に位置づけます。